

めざす子ども像

## 「地域の絆を深めよう」～平城の地でいのちを育もう～

取組目標

### ～“食と農”を通して地域の絆を深めよう～

#### 【今年度の取組紹介】

今年も田植え・稲刈り・芋つくりと楽しみながら体験しました。学校のすぐ前に地域教育協議会の会長の田んぼがあり、そこをもう何年もお借りしています。

こども園（幼稚園）のころから地域の方に教えてもらっているという恵まれた環境にあります。本当を言いますと、お手伝いをしているコーディネーターでさえ「初めて稲刈りをしました。面白いです。」と、子どもたちと同じくらい当日はテンションが上がります。

.....

また、しめ縄教室の準備もお手伝いますが、藁からすぐにはできないのではなくて、まず編みやすいように藁を柔らかくします。これがまた大変なのです。

でもそれよりも何よりもこの藁を準備するのが大変なのです。平城はもう何年も前から、地域でもち米を作っておられる西川さんが準備をしてくれています。しめ縄にはもち米の藁がいいのです。機械で刈ってしまうと楽です。でも昔のように手で刈るのです。本当に有難いです。

しめ縄教室



フェスタ用のジャガイモ堀

#### 【今年度のまとめ】

こども園・小学校・中学校と子どもたちはそれぞれ緑豊かな、ゆったりとした環境の中で生活しています。それぞれの活動の集大成として平城“食と農”ふれあいフェスタがあり、毎年開催します。お手伝いをしている私たちとは、ふれあう機会が多くあり、話す機会も増えて、子どもから普通に声をかけてくれることもよくあります。心がホット暖かくなります。先生からも、直接だったり子どもを通じてだったり、分からないことなどがあるとよく呼びがかかります。言葉は悪いように聞こえますが、地域の方を上手に使ってくれているなあ・・・と。これからもそのような間柄でいたいと思っています。

#### 【来年度に向けて】

・農業を通じて、自然との繋がりがわかる人間づくり。この地域の環境がいかに優れているかを勉強します。体感します。食育の大切さを家庭にも発信します。それを素直に有難く感じられる人になってほしいです。自分で考え行動できる力を養ってほしいです。

めざす子ども像

## 「地域の絆を深めよう」 ～平城の地でいのちを育もう～

取組目標

### 食と農の活動を通して、地域との絆を深める

#### 今年度の取組紹介

##### ① 校区小学校へへの出前部活

9月18日・11月13日に、校区の西大寺北小・平城小へ出前部活に訪問。サッカー・野球・バド・バスケ・卓球・吹奏楽・美術・家庭部などが、日頃の練習で培った技術の披露や作品の交流を行い、普段からの活動について披露しました。児童からは、拍手とともに校区の格好いい先輩たちとして迎えられ、部員たちは誇らしげな表情を浮かべ、素敵な時間を過ごしました。



##### ② 職場体験ポスターセッション

7月10日、2年生が6月に取り組んだ職場体験の取り組みを、1年生を招いてポスターセッションの形で発表しました。3日間の職場体験を行う前に各自で探求するテーマを設定し、体験を通じて学んだことを発表しました。観客の質問にも精一杯答える姿に、たった3日間でしたが確実な成長の様子を感じることが出来ました。



##### ③ 平城“食と農”ふれあいフェスタ 2019

11月11日、奈良競輪場を会場として今年もフェスタが開催されました。ホールでは平城こども園、平城小、西大寺北小、平城中の2年生や吹奏楽部が歌や器楽演奏などの発表を行い、中学1・2年生は、カレーの炊出し、焼きそばなどの模擬店、ストラックアウトなどの園児や小学生が遊べるこどもコーナーのスタッフとして活躍し、多くの地域の方々との交流を深めました。



#### 今年度のまとめ

- 「平城“食と農”ふれあいフェスタ 2019」で生徒達は、地域の方やこども園児、小学生との交流を深めることができました。また、地域、家庭、学校が連携した諸活動を通じて、地域に対する愛着とつながりを持たせることができました。
- こども園や小学校への「出前部活」や「小6部活体験」などを通して、地域のこども園、小学校と交流を深めることができました。
- コーディネーターを中心に地域内の各種団体の連携ができました。



#### 来年度に向けて

- 来年度は「平城“食と農”ふれあいフェスタ」の取り組みを通じて、生徒たちが主体的に取り組む視点をさらに取り入れて、改善点も取り入れながら継続していきたいと考えています。
- 放課後学習などコーディネーターの協力を得て、学習支援の取り組みを行いたいと考えています。
- 生徒一人一人が平城地域の諸活動に対して主体的に取り組む、継続的な取り組みにしていくとともに、地域の方の協力を得て、環境美化活動への支援の輪をさらに広げていきたいと思っています。

**めざす子ども像 「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～****取組目標 地域・家庭・学校が、栽培・生産・命を育む取組を中心に、協力して学んでいく**

今年度の取組紹介

**◆米作り体験**

地域の方から学校の南に隣接した田圃をお借りして、5年生が田植え・稲刈り体験を行いました。今年で10年目になります。田植えや稲刈りには、地域の方々や農協の方々が多数応援に駆け付けてくださいました。また、体育館で収穫祭を行い、地域の方々を招いて、おにぎりを一緒に味わいました。

**◆平城“食と農”ふれあいフェスタ2018**

今年で9回目を迎える「ふれあいフェスタ」を11月11日、奈良競輪場において地域の方々約3000名の参加者を得て、盛大に行うことができました。中学校や地域のバザー、炊き出し、大道芸人によるパフォーマンス、人形劇、そして、学習発表・学習展示と充実した時間となりました。

地域・家庭・学校が三位一体となり、地域の絆をより深めることができました。子どもたちも、園・小・中の交流を深めることができました。



今年度のまとめ

地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また、顔を合わす機会や、自然に挨拶を交わし話すことも増え、コミュニケーション力の育成につながっています。

家庭科学習・図工科学習の支援、低学年の生活科への支援、環境整備への支援など、様々な面で地域の方々のお世話になり、教育活動を進める上でもなくてはならない存在でした。

朝の会や昼休みに、読書ボランティアの方がクラスや多目的室で、読み聞かせを行ってくださったことで、児童の読書への関心も高まり、国語科のアンケートにも「読書が好きだ。」と答える児童が9割に達しています。

来年度に向けて

各学年の児童により効果的な栽培体験学習を年度当初に計画し、地域の協力を得て実行していきたいです。教職員と地域の方々とのつながりをより深めるためにも、顔合わせや意見交換の場を設定し、密接な関係づくりを図っていきたいです。ふれあいフェスタやクリーン活動などを通して、小中一貫教育の立場から子どもや教師の交流を深めていきたいです。

めざす子ども像

**「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～**

取組目標

**食と農の活動を通して、地域の絆を深めよう**  
**～園・家庭・地域が連携し、様々な体験を通して豊かな心と健康な体を育む～**

## 今年度の取組紹介

地域の方の指導のもと、5歳児がさつま芋の苗植えや収穫体験をしました。収穫の時には芋掘りをしやすいようにツルの処理を事前にし、ツルを残した畑を見せ「こんなに大きくなっているよ」と子ども達に知らせてくださいました。また、子ども達に寄り添いながら、土が固くなかなか掘れない子にはシャベルで土を柔らかくしてくださり、掘り方を教えてくださいました。子ども達は「いっぱい掘れたよ」「重たい」「大きいお芋がとれた」と一緒に収穫を喜んでいました。



12月には地域の方と一緒に、全園児で焼き芋パーティーをしました。事前に焼き芋の時の焚き木用に木の剪定をし、枝を集めてくださり、子ども達は園庭の落ち葉や小枝を集めて準備をすすめました。当日朝から藁やもみ殻、落ち葉、枝を使って火を起こしてくださり、子ども達は芋をアルミに包み、地域の方と一緒に火の中に入れて焼きあがるのを楽しみに待っていました。焼きあがると一緒に焼き芋を食べ、「おいしい」「あまいね」「もっと食べたいな」と、大喜びで食べる姿がありました。焼き芋パーティーの日が迫ると、「焼き芋も苦手」と不安そうにしていた子も「こんなにおいしいとは！！もっと食べたい！」と、嬉しそうに食べていました。火を起こしている様子を見て、友達や地域の方と一緒に賑やかに食べたりしたことで、おいしさが一層増し、苦手な気持ちがなくなりました。



## 今年度のまとめ

こども園の畑はスペースに限りがありますが、地域の方に借りている「平城っこの畑」は、面積も広く、存分に収穫を楽しむことができました。栽培活動を通してかわりを持ち、地域の方を知ること、感謝の気持ちや見守られていることへの安心感をもつことができました。収穫したさつま芋を使って、一緒に焼き芋パーティーをしたことで、より一層、子ども達の食への興味・関心が高まりました。

## 来年度に向けて

地域の方の協力を得ながら、園・家庭・地域が連携し、子ども達が豊かな体験ができるように、取組を継続していきたいです。

また、年度末に地域の方の協力で、園内に畑を整備していただいたので、来年度は、その畑を活用し少量でも園内で育てた作物を平城“食と農”ふれあいフェスタに届けていきたいと思ひます。